

2024(令和6)年

shin koh

心耕 7月号

干からびた ミミズのみよ。
何でここに来たのか...

しんこう

西光寺々報

今月の行事

十二日(金)はじめの一步

午後一時、阿弥陀経を学びます。

二十八日(日)日曜法座

午後一時、法話 在取

勉強会 壮年会 三日(午後四時)

婦人会 十二日(午前十時)

写経会 十九日(金)

午後一時、ゆくりのんびりと

寺カ左 二十日(土) 午前十時

針金細工体験 下町と口師

草取り 二十一日(日) 午前八時

勢いスイスイ! お手伝いお願いします。

ヨガ 二十六、三十日(火)

午後一時、毎回千円

お朝事 毎朝六時半

涼しい朝のうちには一度はお参りを

小四の娘はソフトボール

をしている。土曜は半日、日

曜は弁当持って一日練習。

終わってから遊びに行くの

だから体力は大したものだ。

それくらい勉強の体力があれ

はいが、うちは短期集中型。

監督コーチは保護者。休

日返上で付きまじり。大会に

入れば審判もする。月曜からは

キと仕事だ。見える、所でみ

んな働いている。これを「おかけ

さま」という。見えるい所で、阿弥

陀仏もはたらいている。ナニタガ

お盆家庭参りは...

同封の地区割表を参考の上

返信用乗書にてお申し込み

下さい。

法座案内

十二日(金) 午後一時〜

はじめの一步 最終回

阿弥陀経を学んでいます。いよいよ最終回です。親鸞聖人の阿弥陀経の和讃を味わいます。初めてでも大丈夫です

二十八日(日) 午後一時〜

日曜法座

法話・住職

「行いと言葉の 背後に

世間があるか 如来があるか」

今月の法語カレンダーより住職がお取次ぎいたします。

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

二十一日(日) 八時〜九時 是非ご助力を！

・写経会

十九日(金) 十三時〜十五時 どなたでも

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 三日(水) 十六時〜 八月は休み
婦人会 十二日(金) 十時〜

・節談説教・小田原熱海ツアー！ 残席僅か！

九月三日〜四日 参加費・二〇、〇〇〇円
小田原のお寺さんで節談説教を聞き、熱海で一泊、帰りは鈴廣でランチと土産。一泊四食で多分お得！全行程、若任職運転のマイクロボスで行きます。早めに連絡を

・Youtube 西光寺チャンネル新作配信

新作節談を七月上旬に配信予定
QRからどうぞ！



・はじめてのヨガ

二、十六、三十日(火) 十三時〜 毎回千円
ヨガマット持参 予約不要

・みんなの寺カフェ

主催みんなの寺カフェ 後援西光寺
みんなの寺カフェ
針金細工体験

7月20日(土)
10:00〜12:30
会費:大人500円
子ども100円(無料)
持ち物:ラップペンチ
予約:0777-7777
場所:西光寺
(中野市根田4-1-1)
電話:0777-7777
07 公式ライン

針金で何でも作ろう！

内容 「針金細工体験」

講師 ガネ師三代目下町レトロ師

日時 二十日(土) 十時〜十二時半

昼食付 大人五〇〇円 子ども無料

予約制 お寺まで 締切 十四日

・お盆参り

お盆参りご希望の方は、同封のハガキにて地区割り票を参考の上、ご希望の日時を添えて返信して下さい

愚痴

ぐちぐち言うな、愚痴をこぼす、「愚痴」を広辞苑で調べてみますと



色々試した結果
麻が一番
涼しいです。

タチバナ

口伝

約二五〇〇年前のインドではお釈迦様はどのようにして教えを説いておられた



のでしうか。

①(仏)理非の区別のつかないおろかさ。
②言っても仕方のないことを言つて嘆くこと。言葉。

我々が普段使う「ぐち」は②の意味です。①は仏教の「愚痴」の意味が記されています。

根本的な煩惱の一つです。思うようにならないことを受け入れられない煩惱です。

あるラジオでの人生相談

職場で憧れの先輩と友達になつた。ところが、仲良くなると金を貸してくれを言ってきたり、頼みごとが多くなつた。憧れの先輩が変わつてしまはどうしたらいいか。

という相談でした。それに対して解答者は、

変わったのは先輩じゃないよ、あなただよ。富士山が遠くから見ればきれいで、近づくるとゴミが落ちているというように、勝手に憧れの先輩のイメージを作つて、近づ

いてみれば違つていたとあなたの認識が変わつたんだよ。

と。愚痴の一例です。よくある話で、必ず私にもあるややこしい煩惱です。



こんなところに

仏教用語

用教仏近身
語介紹
して
います。

お釈迦様は、口頭で教えを伝えられました。または、お姿そのもので教えを伝えられました。お釈迦様が入滅された後に、それぞれ言われたことの相違や勘違いが生じてきたため何度も会議が行われ、文字化して残していく作業が行われました。これが経典になつていきます。

その流れの中で、お釈迦様当時のように師から弟子へと口頭で伝えていくことを重視する派も現れました。密教はその部類にはいりません。大切なことや最後の教えは奥義として口伝されるのです。それにより、純粋性や聖性が保たれていくようになるのです。歌舞伎などの日本の伝統芸能もそれに当てはまります。一部の人のみが継承していくのです。

難しいのはバランスです。口伝にこだわると閉鎖性を生みだします。社会性や世間体に合わせすぎると俗化していきます。ともあれ、お経にはお釈迦様の口伝が説かれていきます。ゆつくりとお経を読んでみませんか？



国中の天人と菩薩 『大経』二十七

三十八願と三十九願は国中の天人を対象にしています。二十七願の涅槃・悟りの世界の具体的な表現のよう感じます。

三十八願は「着る服は自然に具わるので、自分で裁縫や洗濯等をしなくてもいいですよ」と言っています。三十七願等の修行をする者の我が国におけるサービスを与えているようです。この服を妙服と言っています。妙服とは袈裟や法服など仏法に照らし合わせて創られた服の事です。

『遺教経』では「慙愧の服は諸々の莊嚴の第一とす」とか『華嚴経』では「善根と慙愧を衣服とすることを忘れず」とか『法華経』では「如来の衣は柔和忍辱の心これなり」と衣服についての表現が有りますので、ここでも精神的な表現だろうと推察します。『大経』ではこれらの教えと異なる所が「自然に具わる」としています。前回も表現した受動態です。受身の状態です。自然に具わることを受け入れることです。弥陀に任せることです。自ら洗濯や裁縫などしなくて良いのだと自力の心を嫌っています。

三十九願では「受ける快樂は漏尽比丘のようだ」と言っています。漏尽比丘とは阿羅漢のことです。煩惱が漏れて漏れて無くなっただろう状態の人のことです。逆に私たちは煩惱を貯めて貯めて貯めまくっているので無漏と言いま

す。仏教の教義が煩惱を無くすことを中心としたことは疑問に思います。釈迦は縁起を領解した人を阿羅漢と呼んでいます。阿羅漢とは応供と言い、人々から供養を受けるに値する人と言う意味です。縁起を領解したからと言って煩惱が無くなったのかというとそうではないようです。死後のことは分かりかねますが死ぬまで煩惱は残りません。煩惱の方向が変化するのだと思います。自分の為だけにから衆生の為にはです。縁起によって今ここに居ると言う事を感じする快樂安穩の生活です。この快樂安穩を多くの衆生に分け与えていこうとするのが大乘の菩薩なのです。そして

四十願は国中の菩薩に「見たいならいつでも宝樹の中で鏡に顔を映し出すように厳浄仏土が見れる」と願われています。三十一願と関連しています。宝樹は二十八願の道場樹と同じで悟りの場所です。厳浄は『大経』の初めに法蔵菩薩が「二百十億の・厳浄の国土を悉く暗見して」とあるように世自在王によって与えられた能力を我が国の菩薩にも分け与えていくのです。同様の内容が四十六願に在ります。「法を聞きたいときは自然に聞くことが出来る」という願です。八十五歳の親鸞聖人はこれらの自然にたどり着いたようです。思い計らいの無い受身・他力・縁起なのではないのでしょうか。

今日の住職雑感

住職が気温が高くて書けぬので
お休みさせていただきます

お取次かき限りです

八月の行事

- ・五〜七日 お寺の臨海学校
- ・十二〜十四日 盂蘭盆会
- ・十七日 寺カフェ
- ・十八日 草取り
- ・ヨガ五、十九日

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三一



TEL : 0436-22-7412

FAX : 0436-24-1652

HP : <https://www.saikohji.net>

MAIL : saikohji@saikohji.net